

なが お



4章 長尾校区

1. 下長尾八幡宮

【所在地】城南区長尾5丁目1-32

① 下長尾八幡宮

【概要】長尾小学校の南隣りに位置する。祭神として、^{おうじんてんのう}応神天皇、^{じんぐうこうごう}神功皇后、^{たまよりひめのみこと}玉依姫命を祀る。境内の北東には梅の木が多く植えられている。

【境内祠堂等】②天神社、③八龍社、④愛宕社、⑤「区画整理事業記念樹」標柱、他鳥居、汐井台など多数。

【碑文等】

*1 説明板

下長尾八幡宮 由緒記

一、祭神（三座）

第十五代 応神天皇（武神として崇敬される）

第十四代仲哀天皇、神功皇后の皇太子として神功皇后新羅より凱旋し給い、宇美八幡宮の地にて出生さる

出生 日本紀元八六〇年（西暦二〇〇年）

崩御 日本紀元九七〇年（西暦三一〇年）

神功皇后

玉依姫命（神武天皇の母）

一、祭典

五月二日 春季祭典

十月二十二日 秋季祭典（〆縄飾り）

一、其の他境内の三社について

天神社 祭神 埴安命（豊作祈願の神）

八竜社 祭神 八大竜王（早魃の時期降雨の神）

愛宕様 火の神、開運の神として崇敬され、

酒、煙草等の禁断誓願に霊験あり

氏子中

平成十七年五月吉日



下長尾八幡宮社殿（2013.2.20 撮影）

②「天神社」

【概要】下長尾八幡宮の境内社。*1 説明板によると、豊作祈願の神として埴安命を祀るとされる。



「天神社」(2013.2.20 撮影)

③「八竜社」

【概要】下長尾八幡宮の境内社。*1 説明板によると、早魃の時期の降雨の神として八大竜王を祀るとされる。隣に④「愛宕様」が祀られている。



「八竜社」。写真向かって右方に④「愛宕様」がある
(2013.2.20撮影)

④「愛宕様」

【概要】下長尾八幡宮の境内社。*1 説明板によると、「火の神、開運の神として崇敬され酒、煙草等の禁断誓願に霊験あり」とある。隣に③「八竜社」が祀られている。



中央④「愛宕様」。向かって左に③天神社がある(2013.3.20撮影)

⑤「区画整理記念樹」標柱

【概要】八幡宮社殿の前方に位置する。標柱に書かれた年代（「昭和五十二年九月」）から、下長尾八幡宮隣の「2.区画整理事業記念碑」と同時期に記念樹が植樹され、また標柱が立てられたと推察できる。

【銘文】

[表] 区画整理記念樹

[裏] 昭和五十二年九月



写真後方に記念樹の根元（2013.3.20 撮影）

2.「下長尾土地区画整理事業完成記念」碑

【所在地】城南区長尾 5 丁目 1・32 (1.下長尾八幡宮の南東交差点角)

【概要】下長尾地区の区画整理事業を記念するモニュメント。碑文から、「昭和五十二年九月」（1977 年 9 月）に区画整理事業が完成したのを記念して建てられたことがわかる。碑は 3 つの部位から成り、中央*1 に記念碑の名称、右側*2 に区画整理の概要、左側*3 に区画整理事業に関わった人の名前が記されている。

【碑文等】

[中央*1、表]

下長尾土地区画整理事業 完成記念 昭和五十二年九月 福岡市長 進藤一馬書

[右側*2、表]

組合設立	昭和四十二年三月
地区面積	五〇六・六五〇平方メートル
組合員数	設立当時四七一名
工事内容	
新設道路	総延長一二・一四三メートル
全 水路	全 三・一一〇メートル
全 橋梁	七橋
全上水道配水管布設	九・五一七メートル
公園（四ヶ所）	一五・三二九平方メートル
換地清算事務完了	昭和五十二年三月
総事業費	五億一千万円

[左側*3、表]

福岡市下長尾 土地区画整理組合

役員

理 事 長	副田直司
全	有吉一男
副理事長	吉岡一見
全	有吉孝太郎
常務理事	大津綱治
理 事	八尋良平
全	横溝惣五郎
全	関 志基三郎
全	山本辰夫
全	坂本光喜
全	佐藤 忠
全	船越復生
全	樋口正光
監事	庄崎一雄
全	副田 滋



区画整理事業記念碑（写真後方は下長尾八幡宮境内、2013.2.20 撮影）

3.限観音

【所在地】城南区長尾 2 丁目 10・1

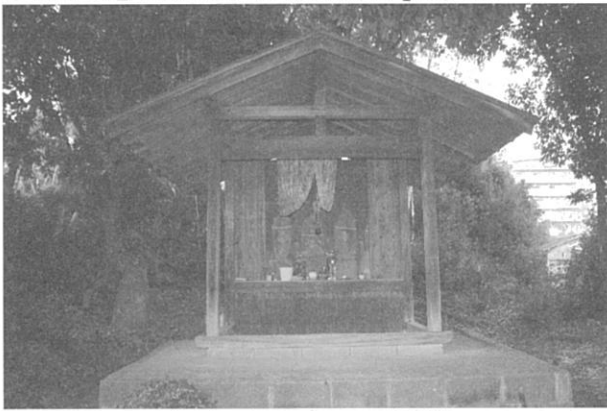
①限観音

【概要】「グッデイ長尾店」のすぐ北側、小高い丘を登った所にある。仏像数体が祀られている。『長尾のあゆみ』には、「この祠の祭神は千手観音菩薩で「助けを願う人を助けて下さるお大師さま」として、地域の人達は信心している。小さな石仏は、大正時代の終わりに、信者の一人が姪浜の石工に頼んで彫らせたものだという」（長尾校区自治連合会編 2002：87）とある。また、同書には限観音で行われていた「十七夜待ち」のことが触れられ、「周囲が 7m もある大きな数珠の輪を、参加者全員で持ち「南無大師遍照金剛」と唱えながら 100 回まわして、終わったら簡単な食事とお菓子をいただいて帰る習慣であった」（前掲書 2002：87）が、戦時中食糧難のため廃止されたとある。

【境内祠堂等】②十三仏、③庚申塔のほか、限観音の堂の西隣りに石造物が祀られている。

【参考文献】長尾校区自治連合会編 2002『長尾

のあゆみ』長尾校区自治連合会 p.87-88



隈観音 (2013.2.20 撮影)

②十三仏

【概要】隈観音の境内にあり、隈観音の堂のすぐ隣に位置する。



隈観音 (左) と十三仏 (右) (2013.3.20 撮影)

③庚申塔

【概要】隈観音の堂へと登る階段の途中にある。この庚申塔は、『福岡市の庚申塔』に追加された資料(A4で1ページ)に記載がある。年代は、明和八年(1771)、法量 91.0×49.0 (福岡市教育委員会編 1993: 別紙追加資料)。

【銘文】

〔表〕庚申塔

〔裏〕明和八年

【参考文献】福岡市教育委員会編 1993『福岡市の庚申塔』福岡市教育委員会 (別紙追加資料、該当城・追加 1)



庚申塔。写真右方向に隈観音への参道の階段がある (2012年8月撮影)

4. 友泉亭公園

【所在地】城南区友泉亭 1-46

【概要】以下、福岡・博多の観光案内サイト よかなび web より引用。

「もと黒田家六代藩主継高公が宝暦4年(1754年=江戸時代中期)に別館(別荘)として設けた由緒ある「友泉亭」を、福岡市で初めての池泉回遊式日本庭園として整備したもの。平成10年3月には福岡市指定名勝となり、奥ゆかしき日本の美を漂わせる歴史公園として今日親しまれている。

「友泉亭」とは久世三位源通夏卿が「世に堪へぬ 暑さも知らず 沸き出づる 泉を友とむすぶ庵は」と詠じた歌の意から名付けられたもの。」(<http://yokanavi.com/jp/theme/detail/218>)

【参考 URL】

福岡・博多の観光案内サイト よかなび web(<http://yokanavi.com/jp/theme/detail/218>) 2013.3.15閲覧)



友泉亭公園入口 (2013.3.9 撮影)